



大学生の東アフリカ訪問記

板倉美聡（大阪大学法学部3年）

ARC は事業の一環として、日本とルワンダの人的交流活動をサポートしています。より多くの日本人に「現場」に足を運んでもらい、過去と現在のルワンダを自分の目で見て、考えてもらえる機会としてもらいたいからです。今年の3月にルワンダとウガンダを訪れた板倉美聡さんに訪問記を寄稿していただきました。



3月16日～4月3日までの約3週間、自分が将来仕事をしたいとおもっている、国際協力の現場をこの目で見るために、東アフリカのウガンダ、ルワンダ、タンザニアの3カ国をめぐる旅をしました。

ギシンバ・メモリアル・センター訪問（ルワンダ）



ルワンダの首都・キガリで最も名のある孤児院であるギシンバ・メモリアル・センターを訪れた。ジェノサイド当時は、紛争孤児を多く引き受けた同センターであるが、現在はそれに加えて AIDS や貧困により親を失った子どもたちの家となっている。小さな子どもたちから、私と年の変わらない青年たちまで様々な年齢の子どもたちまでいたが、おもに10代後半と見受けられる子どもたちに対して将来のビジョンについてのインタビューを実施した。

「将来は何になりたいの？」

私の質問に、「建築家。」「音楽プロデューサー。」とその答えはさまざま。「結婚して幸せな家庭を築きたい。」と答えてくれた一人の少年は、ジェノサイドによって家族を失い、経済的基盤の弱さから大学に行けず職を持ってないのだという。ジェノサイドから20年。毎年実に7%もの経済成長を続け、「アフリカの奇跡」とも言わしめたほどの復興を成し遂げてもなお、その地で生きる人々ひとりひとりに焦点をあてれば、またルワンダは復興の途中なのだろう。



元・子ども兵の社会復帰支援活動見学（ウガンダ）

想像できるだろうか。ある日突然武装勢力に包囲され、親しい人の殺害または傷害を強要され、できなければ殺され、成し遂げた場合は誘拐される、想像できるだろうか。麻薬付にされて戦場に向かわされ、帰る場所もなく人を殺める毎日。

ウガンダの首都カンパラから北へ車で走ること7時間、ウガンダ2番目の街グルに、日本のNPO テラ・ルネッサンスの事務所がある。ここでは、そんな壮絶な過去を持つ元子ども兵たちが、紛争後社会で明日を生きる力を養うための支援が行われている。

子ども時代に、適切な教育を受けることもできず、また精神的トラウマを抱えてしまっている元子ども兵たちの問題は根深い。テラ・ルネッサンスは、基礎教育支援、職業訓練支援、精神的支援など多角的なアプローチを実施しており、また個人に合わせて必要な支援を提供する“オーダーメイド型の支援”もそのきめこまやかな支援の特徴である。



子ども兵と言われて、少年兵を想像する人が多くいるだろうが、実際テラ・ルネッサンスで支援をうける元子ども兵の半分以上は少女兵たちである。彼女たちは、毎日戦場に赴く兵士たちと強制結婚させられ、性的搾取の対象とされる。私がであった元少女兵たちの多くは、背中に小さな赤ん坊を背負いながら、真剣な眼差しでミシンの使い方を勉強していた。自分より若い少女たちが、壮絶な過去を抱えながら、それでもなお前を向いて生きている姿に、心を打たれずにはいられな

かった。



板倉 美聡

大阪大学法学部国際公共政策学科3年生。
国際食育団体「おむすび」、第66回日米学生会議に所属。
インド、ベトナム、東アフリカ、イギリス、韓国、アメリカへの渡航経験。趣味はダンス、海外旅行で、好きな食べ物はケーキとたこ焼き。

報告 — ワンワールド・フェスティバルに参加しました！



2月1日、2日に大阪・天王寺で行われたワンワールド・フェスティバルにブースを出展しました。両日ともにたくさんの方がブースに足をとめてくださいました。今回はARCの広報、特に去年から始まった Stationary for Action プロジェクト (S4A) の紹介、バナナリーフカードなどの販売、そして新しいインターン生募集の告知のために出展しました。たくさんの方に関わっていただき、嬉しいことに用意していた団体パンフレット、並びにインターン募集についての案内全て持ち帰っていただけました。現在もインターンに関す

る問い合わせが頻繁に届いています。販売に関しては、ルワンダの女性が手作りしたバナナリーフカード、S4Aの文具、そしてインターン生で手作りしたお菓子を用意しました。やはり一番人気はバナナリーフカード。このカードに興味を持たれてブースに来られる方も多かったです。フェスティバル前日に頑張って手作りしたお菓子約100個も全て完売しました。S4Aの文具もほぼ完売。なお売上金は全て「ARCルワンダ子ども支援基金」事業に使わせていただきました。ワンワールドフェスティバル運営側が企画していたクイズラリーにも参加しました。このクイズのおかげで小さなお子さんにも分かりやすく、ルワンダの教育事情について説明することが出来ました。ルワンダにおける小学校入学率をクイズでたずねたのですが、答えの98%という大きな数字に皆さん驚かれています。と同時に、低い識字率、高い退学率にも驚かれ、ルワンダが抱える問題がどのようなもの



なのか伝えることが出来たと思います。他のNGO、NPO団体の方ともお話しする機会が多く、他の国がどのような状況にあるのか知ることができ、とても勉強になりました。また来年も開催されるようなので、是非足を運んでみてください。今後ともARC、そしてStationary for Actionプロジェクトをよろしくお願ひ致します。

アフリカ平和再建委員会

Africa Reconciliation Committee: ARC-JAPAN

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1四谷サンハイツ511

TEL/Fax : 03-3351-0892

E-mail : headoffice@arc-japan.org

ホームページ

<http://www.arc-japan.org>



ツイッター始めました！アフリカの紛争と平和に関するイベントや情報の発信をしています！

@ArcJapanNews どんどんフォローしてください！



フェイスブック始めました！日ごろのARCの活動内容や、アフリカに関連するイベントや情報の発信をしています！

【ARCページ】 <http://www.facebook.com/ARCJAPAN>このページに「いいね!」、「シェア」をお願いします！